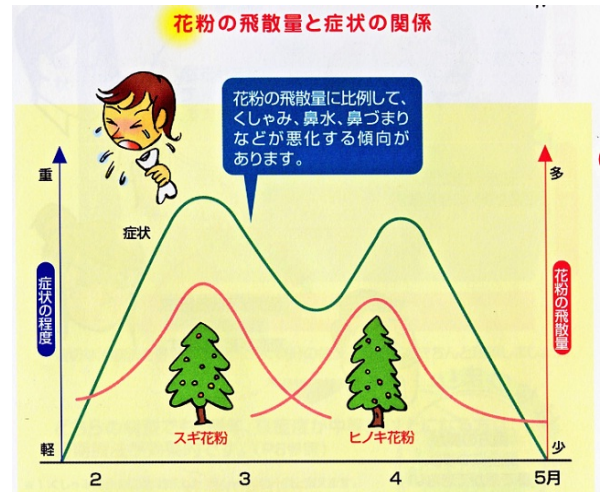


1. 花粉症のメカニズム

私たちの体は異物(抗原)が侵入すると、これと反応する物質(IgE抗体)を作る仕組みがあります。花粉から溶け出した抗原が、鼻の粘膜にある肥満細胞の表面に付着している IgE抗体と結合すると、肥満細胞から化学物質が分泌され、これがくしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみ、異物感、などの症状を引き起こすのです。

2. 花粉症には様々な抗原があります

日本では、約 60 種類の植物により花粉症を引き起こすと報告されています。代表的なのはスギ・ヒノキなどの木本植物(樹木)、カモガヤなどのイネ科植物、フタクサ、ヨモギ、カナムグラなどの雑草本です。



3. あなたの花粉症の症状をチェックしましょう

①くしゃみ

連続して起こり、回数が多いのが特徴。

②鼻水

サラサラで、いくらかんでも出てきます。

③鼻づまり

両方の鼻が完全につまり、鼻で息ができないこともあります。

④目の症状

涙がぼろぼろ出て、強いかゆみ・充血が起こります。

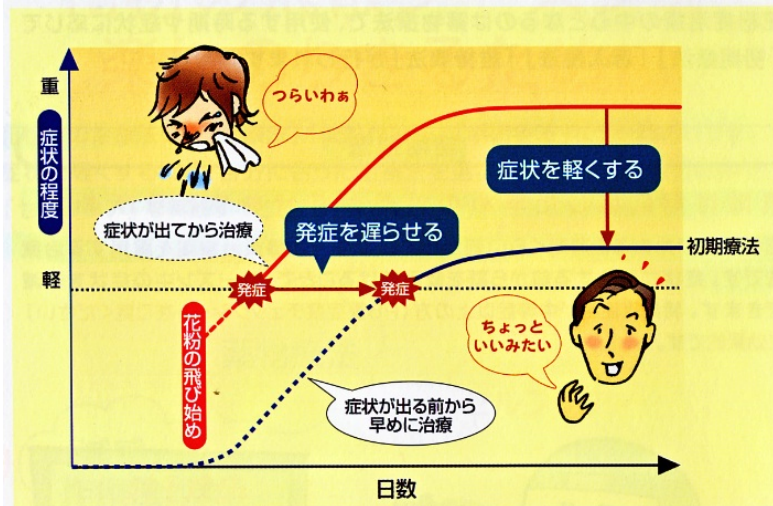
4. 治療法

花粉症の治療法は「薬物療法」「減感作療法」「手術療法」に3分類されます。

◆ 薬物療法 — 初期療法

飛散時期に応じた早めの対処が症状をやわらげます。

花粉が飛び始める2週間くらい前からアレルギー性鼻炎治療薬を服用する治療法です。



初期療法のメリット

- 発症を遅らせることができます。
- 飛散量の多い時期の症状を軽くできます。
- 併用する薬の量や回数を少なくできます。

◆ 効果的な薬の服用を（点鼻薬等の併用）

■ 第2世代抗ヒスタミン薬で治療をした場合

